

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AA41G021		データサイエンス入門 (Introduction to Data Science)					導入教育科目 導入・転換		オンライン(オンデマ ンド型)						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	1	1・2・3・4	医学部医学科	前期	水7	日本語				複数(共同)、オムニバス					
担当教員	氏名 甘利弘樹(基盤教育センター長), 高見利也(数理データサイエンス専門部会長)														
	E-mail dsintro@oita-u.ac.jp 内線														
授業の概要	これからのデジタル社会において, 数理・データサイエンス・AIを日常生活, 仕事等の場で使いこなすことが要求される。この科目ではそのための基礎的素養を学ぶ。さらに, 学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に, これらを説明し, 適切に活用できるようになることをめざす。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	データ・AIによって, 社会および日常生活が大きく変化していることを説明できる。								○				○		
目標2	データ・AI活用領域の広がりを理解し, データ・AIを活用する価値を説明できる。								○				○		
目標3	データの特徴を読み解き, 起きている事象の背景や意味合いを説明できる。								○						
目標4	適切なデータ可視化手法を選択できる。										○				
目標5	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理について説明できる。											○			
目標6	個人のデータを守るために留意すべき事項を説明できる。											○			
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									4		2	2	2		
授業の内容															
1	社会におけるデータ・AI利活用		データサイエンスとは/社会で起きている変化 (教育:市原, 中原, 杉山)(医:安德)												
2	社会におけるデータ・AI利活用		データ・AI利活用の現場/データ・AI利活用の最新動向 (経済:小野(宏))(教育:市原, 中原, 杉山)												
3	社会におけるデータ・AI利活用		大分大学教員における研究事例紹介/社会で活用されているデータ(経済:小野(宏))												
4	社会におけるデータ・AI利活用		データ・AIの活用領域/データ・AI利活用のための技術 (理工:高見, 畑中)												
5	データリテラシー		データを読む (医:谷川, 岩城)(保健:中里)												
6	データリテラシー		データを説明する/データを扱う (理工:渡辺 樹)												
7	データ・AI利活用における留意事項		データ・AIを扱う上での留意事項 (理工:江崎 翔太)												
8	データ・AI利活用における留意事項		データを守る上での留意事項とまとめ (教育:市原, 中原, 杉山)(基盤セ:未定)												
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニング アイコン ング	A:知識の定着・確認	○	演習課題への取り組み					工 夫 の 他 の	LMS(Moodle)の活用						
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	参考書等を事前に読んでおく。(7h)													
	事後学修	講義資料や参考書等を用いて復習する。演習課題に取り組む。(15h)													
	想定時間合計	23													
教科書	教科書は指定しない。														
参考書	北川源四郎, 竹村彰通 編『教養としてのデータサイエンス』講談社, 2021年 上藤一郎 著『絵と図でわかるデータサイエンス』技術評論社, 2021年														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	「社会におけるデータ・AI活用」についての演習課題	50%	○	○								
	「データリテラシー」についての演習課題	25%			○	○						
	「データ・AI活用における留意事項」についての演習課題	25%					○	○				
		小テスト及びまとめテストの点数が満点の 60%以上になると単位修得条件を満たします。										
注意事項	オンデマンド型オンライン授業として実施する。 学修スケジュールをMoodleに掲載するので、必ず確認すること。											
備考	オムニバス形式の授業である。なお、本科目は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）の政府認定を受けた「データサイエンス基礎教育プログラム」の必修科目である。											
リンク												
	URL											